

< IDEC 横浜 産学連携マッチング >

**「世界一空気のきれいな地下鉄」を志向した新規空気清浄技術を開発する
 産学連携プロジェクトを開始
 ～地下鉄駅構内における実地調査はじまる～**

(公財) 横浜企業経営支援財団 (IDEC 横浜) の仲介により、慶應義塾大学工学部とマン・ウント・フンメル・ジャパン株式会社 (M+H 社) は、「世界一空気のきれいな地下鉄」を目指した取り組みを開始しました。

慶應義塾大学が持つ独自の粒子帯電技術と、M+H 社が持つ最新のフィルトレーションテクノロジーを融合させ、地下鉄の車両やブレーキ等から発生するダストを除去する、これまでにない新技術の開発を目指します。

【背景】

地下鉄構内および車内は閉鎖空間であり、その空気の汚染状況が懸念されている一方で、これまで地下鉄空気質の実態については系統的な調査が行われてきませんでした。

このような背景をふまえ、慶應義塾大学工学部 (奥田知明准教授) と M+H 社は、IDEC 横浜の仲介により、「世界一空気のきれいな地下鉄」を目指した取り組みを開始しました。

【今後の展開 (予定)】

第 1 段階は、地下鉄の構内において、PM2.5 をはじめとする粒子状物質の挙動解析を行います。

※第 1 回目の実地調査を 7 月中旬、地下鉄構内で実施する予定です。

さらに、第 2 段階で IoT を活用したリアルタイムでの PM 計測、第 3 段階で PM 除去技術の実証実験へと進む計画です。なお、今回の産学連携プロジェクトは、2018 年度の慶應義塾先端科学技術研究センター (KLL) 指定研究プロジェクト (※裏面) に採択されています。

将来的には、大都市の生活空間である地下鉄構内の快適な生活環境の提供を実現することを目指します。直接的な利用者への貢献だけでなく、「世界一きれいな空気」を交通機関のブランドとして確立することで、横浜市のみならず、海外展開を見据えた日本全体のブランド力向上につながることを期待されます。

お問合せ先

(産学連携マッチングに関すること)

(公財) 横浜企業経営支援財団 経営支援部地域密着型支援担当マネジャー 川北 彰子 Tel 045-225-3725

(産学連携プロジェクトに関すること)

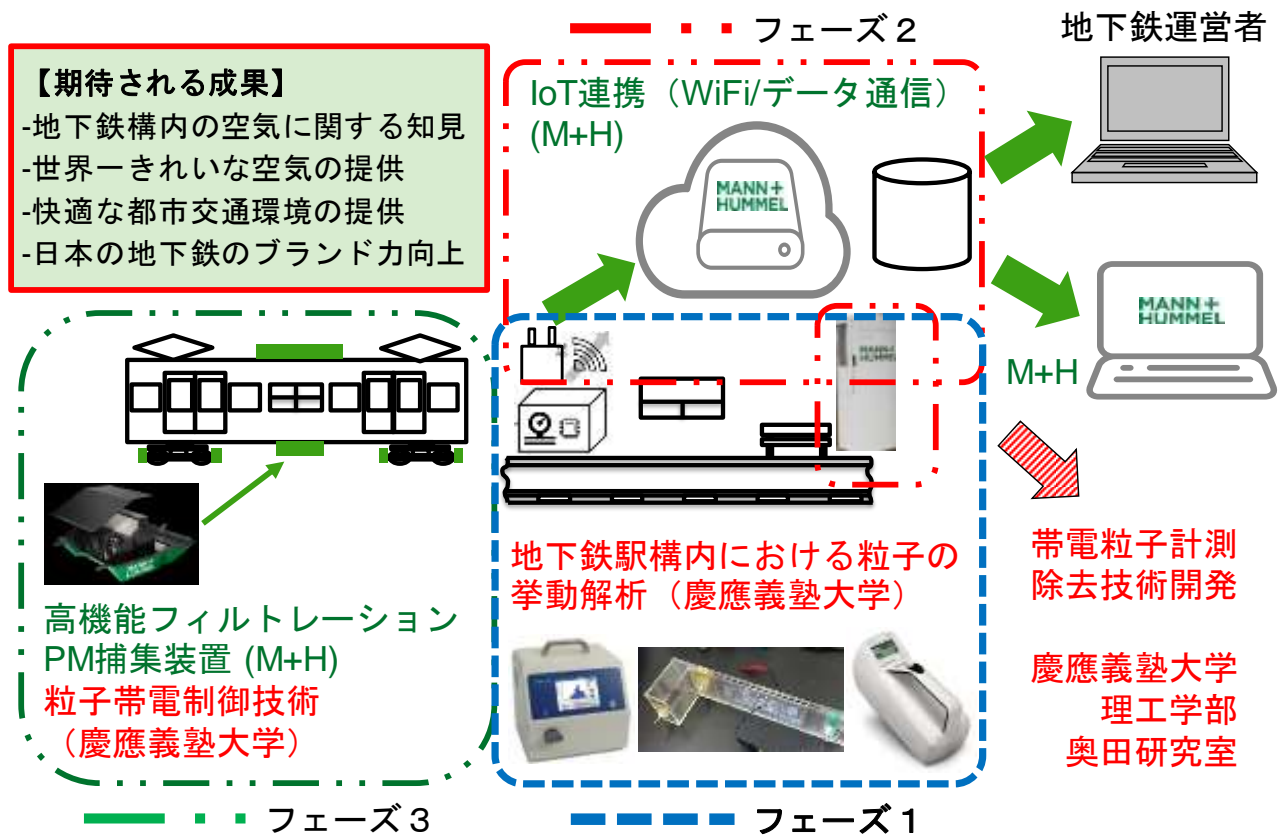
慶應義塾大学工学部応用化学科 准教授 奥田知明 TEL: 045-566-1578 E-mail: okuda@applc.keio.ac.jp

<https://www.st.keio.ac.jp/tprofile/applc/okuda.html>

マン・ウント・フンメル・ジャパン株式会社 広報担当 富樫 Tel: 045-470-0808 E-Mail: info.jp@mann-hummel.com

※第 1 回目の実地調査に関し、ご取材の際には、7 月 13 日 (金) 13 時までに、上記、慶應義塾大学までご連絡ください。

<今後の展開 イメージ図>



マン・ウント・フンメル・ジャパン社について

マン・ウント・フンメル・ジャパン社はフィルトレーション技術に特化したグローバル企業です。グループの本社はドイツ・ルートヴィヒスブルクにあり、自動車、産業機械、屋内空気清浄装置、および、水の浄化装置の開発、製造、販売を行っています。2017年の全世界でのグループ連結売り上げは約5千億円、従業員は2万人以上、世界80箇所に以上拠点を持ちます。

主な製品は、エアクリナーシステム、インテークマニフォールドシステム、液体フィルターシステム、プラスチック成形品、フィルター用ろ材、エアコンフィルター、産業用フィルター、そして、メンブレンフィルターです。

慶應義塾先端科学技術研究センター(KLL)指定研究プロジェクト-産学連携支援-について (※)

KLLは、理工学部における産官学連携の窓口で、企業等との研究連携を推進・支援する組織です。KLLでは、この役割のもと、産学連携に積極的な学内研究者と民間企業との共同研究のスタートアップを支援する助成事業(指定研究プロジェクト-産学連携支援-)を実施しています。

この事業は、慶應義塾と民間企業との共同研究を支援し、慶應義塾内で創出された研究成果の実用化を加速させるとともに、継続的な産学連携体制を構築することを目的としています。

http://www.kll.keio.ac.jp/information/shitei_p/index2.html